



しののめYMCAこども園 園だより

2019年度12月号

発行者：こども園園長 堀江 和広

聖句 「互いに愛し合いなさい」

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。

これがわたしの掟である。

12月聖句 「光は暗闇の中で輝いている」 ヨハネによる福音書1章5節

『誰でもよかった』・・・これは、2008年に起きた「秋葉原通り魔事件」の容疑者が発した言葉です。そして世間を震撼させる殺人未遂事件がまた起きました。中学生が小学生の首をナイフで切りつけたのです。容疑者の中学生は、『誰でもよかった』と同様の言葉を発しています。

2008年の「秋葉原通り魔事件」については、記憶にある方も多いと思いますが、容疑者はトラックで歩行者天国に突っ込み、人をはね、更に歩行者をナイフで刺しました。逮捕後に、この殺傷について、『『誰でもよかった』と供述した』と報道され、その言葉がタイトルとなった本を読んだことを思い出しました。

「人」に傷を負わせ、さらに命を奪うことなど許されるわけも無く、『誰でもよかった』という言葉は、身勝手を通り越し、到底許されることではありません。

秋葉原の事件ではその容疑者について、“友だちが居ない” “人間関係が希薄なのは？”とといったようなことが、その要因として盛んに挙げられていましたが、決してそうではなく、友だちも居て、遊びや食事を誘うような交友関係もあったと言われています。然しながら自分は“孤立”していると強く感じ、その思いは“社会的孤立”へと発展し、果ては表明手段としてこのような事件を起こしたのではないかとされています。周りの人たちは受け容れているのに、自分は孤立していると感じる・・・何故なのでしょう。

私たちは誰もが、他者から必要とされる存在であり、その事は互いに受け容れ、認め合うことに繋がると思います。そして、その根底にあるのは「自己肯定感」であり、「自分自身に『自信』を持つこと」ではないでしょうか。

これからクリスマスを迎えます。イエス様の生誕に関わる役を担い、メッセンジャーとして演じます。一人ひとりが担う役はすべて重要で、誰一人欠けてもできません。必要とされている事に喜びを感じ、私たちにメッセージを送ってくれる事を楽しみにしています。

今年もお世話になりました。来年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

園長 堀江 和広